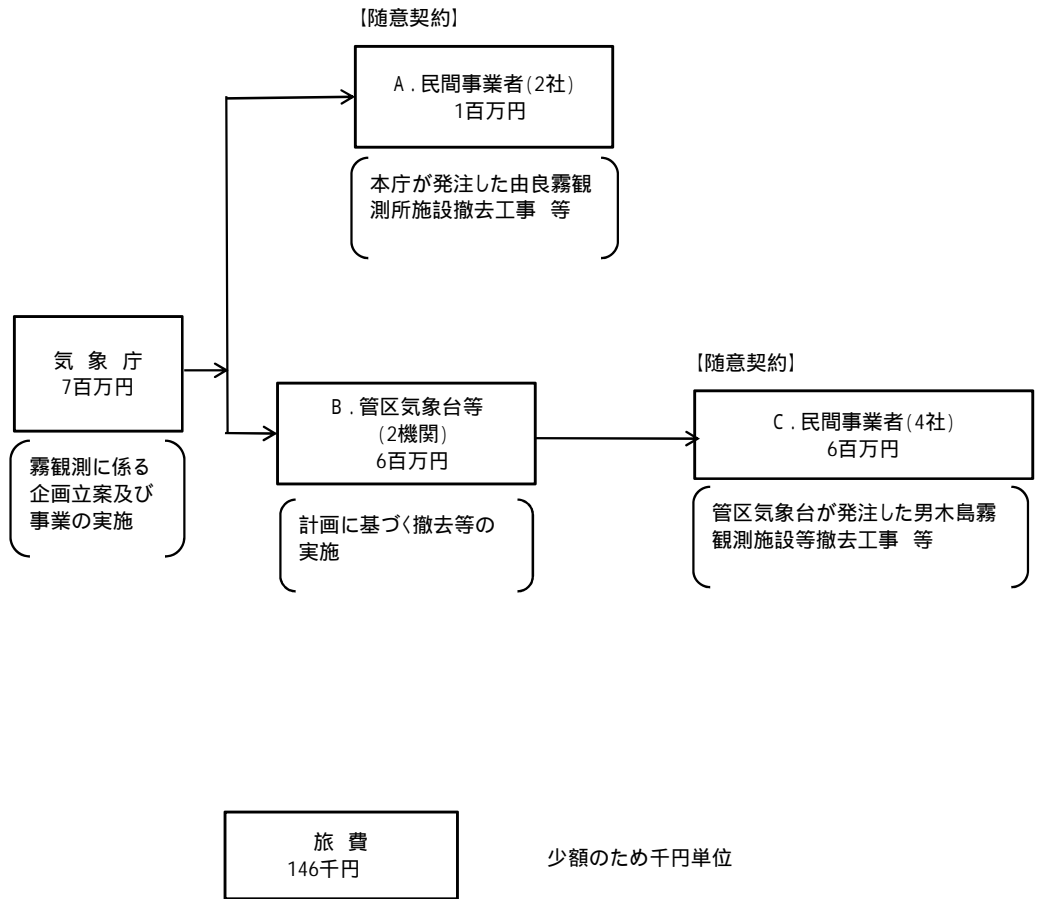


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	霧観測		<b>担当部局</b>	気象庁地球環境・海洋部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和48年度 / 平成22年度		<b>担当課室</b>	海洋気象課		<b>課長</b>	安藤 正	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条、第13条、第14条、第15条 他) 災害対策基本法(第8条)		<b>関係する計画、通知等</b>	防災基本計画(昭和38年中央防災会議策定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	瀬戸内海、東京湾、大阪湾等の海霧の多発する狭水道及び内湾において、霧の実況や予報を適切に提供して海難防止・軽減、船舶の安全運航に寄与する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	霧観測施設により、狭水道・内湾における霧発生及び関連気象要素を的確に把握し、海難事故の防止・軽減を図り、船舶の安全航行のための適切な予報・警報を提供する。 霧観測はH21年度末で終了し、H22年度は霧観測施設の撤去を実施。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	3	3	10	-	-	
		補正予算	0	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
	計	3	3	10	0	0		
	執行額	3	0	7				
執行率(%)	100.0%	8.1%	68.7%					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	霧観測施設の撤去(H22年度)			達成度	%			
			成果実績(当初見込み)	箇所	4	4	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	霧観測所数 (霧観測はH21年度末で終了し、H22年度は霧観測施設の撤去を実施。)		箇所	4	4	-		
<b>単位当たりコスト</b>	1,750 (千円 / 箇所)		算出根拠	H22執行額 / H22霧観測所数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>本事業は、海霧の多発する狭水道・内湾における海難事故の防止・軽減、船舶の安全航行に寄与し、適切な霧予報を行うために、霧観測施設による実況把握を行ってきた。一方、近年の数値予報モデルの高度化・稠密化及び運輸多目的衛星による観測データの高精度化等とともに、リアルタイムで公開されているインターネットライブカメラ画像の解析技術を開発することにより、霧の発生状況の予測・監視技術の高度化を進めてきており、比較的広域に発生する海上の霧について、霧観測施設による観測データの重要性は相対的に低下してきた。これらの状況を踏まえ、霧観測施設によらずとも的確な情報提供ができる見込みがたったことから、平成21年度をもって霧観測施設による観測を廃止し、平成22年度に機器の撤去を行った。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		平成22年度行政事業レビュー結果を踏まえ、事業廃止とする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
・平成22年度限りで事業を廃止した。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。費  
 目と使途の双方で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)中川工務店			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	由良霧観測所施設撤去工事	0.8			
計		0.8	計		0
B.大阪管区気象台			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	男木島霧観測施設等撤去工事 等	4.9			
雑役務費	霧観測資料分岐の停止に伴う情報交換サーバーのソフトウェア改修作業	0.2			
計		5.1	計		0
C.(有)和泉工務店			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	男木島霧観測施設等撤去工事	2.5			
計		2.5	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)中川工務店	由良霧観測所施設撤去工事	0.8	随意契約	
2	(有)電友社	由良霧観測所監視局撤去工事	0.1	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪管区气象台	男木島霧観測施設等撤去工事 等	5.1		
2	東京管区气象台	銚子地方气象台明鐘霧観測所撤去工事	1		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)和泉工務店	男木島霧観測施設等撤去工事	2.5	随意契約	
2	四国通建(株)	安居島霧観測所局舎及び関連設備撤去工事	2.4	随意契約	
3	協和建設工業(株)	銚子地方气象台明鐘霧観測所撤去工事	1	随意契約	
4	日本無線(株)	霧観測資料分岐の停止に伴う情報交換サーバーのソフトウェア改修作業	0.2	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					